

テレビ朝日への質問と回答

[11月27日放送分関連]

質問1

告発発言を放送する場合、一般的に、その告発内容を裏づける周辺取材が必要とされていますが、今回の放送に当たってはどのような取材をされたのでしょうか。

回答1

証言をしたマクドナルドの元店長代理だけでなく、複数の関係者にあたりました。しかしながら元店長代理の証言が、実体験者でしか知りえない具体的かつ詳細なものであり、社会的にみて重要な内容を含んでいたため、番組関係者であってもこの証言を放送することは公共性・公益性が高いと判断して放送に踏み切りました。

質問2

今回の放送では、「番組関係者」が告発発言を行なっています。そうであればいっそう正確性や中立性を確保するために、当時の同僚等、他の関係者を取材し、第三者性を確保するためにも、その中から放送に応ずる人を探す努力が必要だったと思われませんが、そのような試みはされたのでしょうか。また、放送に応じる発言者が他に得られなかったのだとしても、なぜ番組関係者であることを当初から明らかにして放送しなかったのでしょうか。

回答2

質問の前半は1.と重複していますので後半についてお答えします。

証言は、マクドナルドに不利益となる内容を含んでいたため、証言をしたことで証言者に不利益が及ぶ可能性がありました。取材源を秘匿し、証言者を不利益から守るために、本人を特定される恐れのある情報を極力控え、番組関係者であること自体を27日の放送では明らかにしない、という判断を致しました。

質問3

「番組関係者」が告発発言をするのであれば、いわゆる「顔出し」出演が十分可能だったはずですが。今回のような「顔なし」出演は社会一般の「匿名」化を助長するものであるという誹りを免れませんが、どうお考えでしょうか。

回答3

今回の証言者は、直接番組を制作しているスタッフではなく番組の周辺にいる人物でした。前項で回答したとおり、証言者を特定すると本人に不利益が及ぶ可能性があったため、番組の判断で「顔なし」での出演としました。また証言者本人も個人が特定されることに不安を感じていたことも考慮しました。

質 問4

今回の告発発言者は既にマクドナルドを辞めています。発言撮影の際に在職時の制服を着用させ、また「店長代理」の名札をつけさせた理由は、どこにありましたか。

回 答4

担当したスタッフは、この証言者が過去にマクドナルドで働いていたことを視聴者にわかりやすく表現したかったと申しています。しかしながら「元店長代理」とナレーションおよびテロップ表示をしたものの、本人が保管していた店員時代の制服を着て、さらに店長代理時代のバッジを着けインタビューを行ったことは、視聴者に混乱と誤解を与える不適切な表現方法でした。

質 問5

前項に関し、制服着用の上で発言してもらったという判断は、番組制作職制上、どのレベルで行なわれたのでしょうか。

回 答5

判断したのは、この日マクドナルド問題を担当したディレクター（3人）のチーフです。

質 問6

今回の放送に当たって、(i) 告発内容の正確性・信憑性、(ii) 演出上の妥当性について、職制上の各レベルで、具体的にどのような検討が行なわれましたか。

回 答6

(i) 1. でお答えしたとおりです。

証言者の身元および証言内容については、責任デスクが確認しておりました。また、放送に当たっては、証言内容をマクドナルドの広報に質し、先方の見解も合わせてVTRの中に入れることとしました。

なお、この問題についてはその後も取材を継続しており、放送を裏付ける複数の証言を得ています。

(ii) 服装については、担当したディレクター（3人）のチーフの判断で行われました。

[12月7日放送分関連]

質 問7

メインキャスターは、番組中、告発発言者に過去の制服や名札を着用させて出演させたことに関し、「これはほんとうに間違ったやり方です。申し訳ありませんでした」と発言し、また後半で、「あえて『報道ステーション』は、そのことを報告させていただきました」と語っていますが、

- (i) この放送の趣旨は、「謝罪（お詫び）」「訂正」「報告」のいずれでしょうか。
- (ii) 上記の「あえて」とは、この場合、どのような意味でしょうか。
- (iii) 視聴者に趣旨がわかりにくい放送になったのはなぜでしょうか。

回 答 7

- (i) 「謝罪」です。
- (ii) 「包み隠さず自ら進んで不適切な表現方法を認めてオープンにする」という意味で使用しています。
- (iii) 番組としては、わかりやすく説明したつもりですが、ご指摘のように趣旨がわかりにくかったのであれば遺憾であり、ご批判を真摯に受けめたいと思います。

質 問 8

1 1月27日の放送直後から、視聴者からは「元従業員が制服を着ているのはおかしい」「現在の制服とちがう」等の指摘が多数寄せられていたようですが、12月7日の放送までに10日間も要したのはなぜでしょうか。

回 答 8

番組では、放送直後にスタッフ内で表現方法について疑問が出され、なぜこのような表現をしてしまったのか、事実関係を調べ始めました。その後視聴者からも問い合わせが寄せられ、番組の中で誠実に対応しようという結論に至りました。

しかし、放送で謝罪するにあたって、何よりも事実関係を正確に確認・検証する必要があり、また証言者の身元が特定される可能性のある情報をどこまで表現すべきか、慎重にならざるをえず、議論を重ねた結果です。

[最後に]

質 問 9

BPO放送倫理検証委員会は、今夏、TBS『みのもんたの朝ズバッ！』の不二家関連報道に関し、告発発言報道とお詫び・訂正のあり方についての見解を提示し、「取材内容を意図的にゆがめることなく視聴者に伝えようと誠実に努力」し、事実からのズレが生じたときは「迅速に、正確に、明解に、フェアな態度で訂正し、謝罪する」ことが必要である旨を指摘していますが（見解22頁）、貴局ではこの「見

解」をどのように受け止められ、また周知されたのでしょうか。また、今回の2度（11月27日、12月7日）にわたる放送について、この「見解」に照らし、どのような自己評価をなさいますか。

回 答 9

BPO放送倫理検証委員会の見解については真摯に受け止め、さまざまな現場で周知に努めているところです。

今回の事態を受け、社としては委員会の前回の見解を踏まえ、番組でなるべく早い機会に、自ら正確に視聴者に説明し謝罪することが必要と判断し、12月7日の放送にいたった次第です。

報道ステーションはスタートから4年近くが経過しましたが、古舘伊知郎キャスターをはじめ全スタッフが、常に初心を忘れず謙虚な姿勢で視聴者の信頼を得られるように努力して参りました。今回の件を深く反省し、今以上の信頼を得られるようさらに努力する所存ですので、関係方々のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。